

令和6年5月14日

各位

トモニホールディングスグループの令和6年3月期決算概要について

トモニホールディングス（本社：香川県高松市、社長：中村 武）は、令和6年3月期（令和5年4月1日～令和6年3月31日）連結業績等の概要と、当社グループの中核企業である徳島大正銀行（本店：徳島県徳島市、頭取：板東豊彦）及び香川銀行（本店：香川県高松市、頭取：山田径男）の単体業績等の概要について発表いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. トモニホールディングス

(1) 令和6年3月期（令和5年4月1日～令和6年3月31日）連結業績

当期における損益状況は、経常収益は、貸出金利息及び有価証券利息配当金の増加により資金運用収益が増加したことに加え、役務取引等収益が増加したこと、株式等売却益の増加によりその他経常収益が増加したこと等により、前期比10,163百万円増加して87,817百万円となりました。経常費用は、株式等売却損の減少等によりその他経常費用が減少したものの、外貨調達に伴う外国為替売却損及び国債等債券売却損の増加によりその他業務費用が増加したこと等により、前期比9,314百万円増加して66,289百万円となりました。その結果、経常利益は、前期比849百万円増加して21,528百万円となり、親会社株主に帰属する当期純利益は、法人税等の増加により前期比160百万円減少して14,008百万円となりました。

当期末における主要勘定残高の状況は、総資産残高は、前期末比2,591億円増加して4兆8,104億円、純資産残高は、利益剰余金が増加したことに加え、増資により資本金及び資本準備金が増加したこと等により、前期末比301億円増加して2,774億円となりました。また、譲渡性預金を含む預金等残高は前期末比1,904億円増加して4兆3,372億円、貸出金残高は前期末比1,605億円増加して3兆5,558億円、有価証券残高は前期末比43億円減少して6,872億円となりました。

		令和6年3月期	
			前期比
損益	経常収益	87,817百万円	10,163百万円
	経常費用	66,289百万円	9,314百万円
	経常利益	21,528百万円	849百万円
	親会社株主に帰属する当期純利益	14,008百万円	△160百万円
		令和6年3月期末	
			前期末比
主要勘定残高・諸比率	総資産	48,104億円	2,591億円
	純資産	2,774億円	301億円
	預金等（譲渡性預金を含む）	43,372億円	1,904億円
	貸出金	35,558億円	1,605億円
	有価証券	6,872億円	△43億円
	自己資本比率（国内基準）	9.23%	0.37%

(2) 令和7年3月期第2四半期累計期間（令和6年4月1日～令和6年9月30日）及び通期（令和6年4月1日～令和7年3月31日）連結業績予想

次期（令和6年4月1日から令和7年3月31日まで）におきましては、有価証券関係損益及び与信関連費用の計上を保守的に見積もっていることに加えて、預金金利引き上げによる預金利息の増加、ベースアップ等による人件費の増加及び前期より繰り越したものを含めたデジタル化等投資による物件費の増加を見込んでいること等により、以下の連結業績を予想しております。なお、配当については、中間・期末ともに各々前期より50銭増配し、1株当たりの年間配当金は前期に比べて1円増配の12円00銭と、4期連続の増配となる予定であります。

① 令和7年3月期第2四半期累計期間

（単位：百万円）

	経常利益	親会社株主に帰属する中間純利益
令和7年3月期 第2四半期累計期間	9,350	6,250

② 令和7年3月期通期

（単位：百万円）

	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益
令和7年3月期 通	19,450	13,150

2. 徳島大正銀行

(1) 令和6年3月期（令和5年4月1日～令和6年3月31日）単体業績

当期における損益状況は、経常収益は、貸出金利息、有価証券利息配当金及び役務取引等収益が増加したこと等により、前期比4,500百万円増加して47,805百万円となりました。

また、コア業務粗利益は、資金利益及び役務取引等利益が増加したこと等により、前期比1,429百万円増加して31,768百万円となり、銀行本業の収益を示すコア業務純益は、前期比1,102百万円増加して13,815百万円となりました。

経常利益は、与信関連費用が減少したこと等により、前期比798百万円増加して12,022百万円となり、当期純利益は、前期比261百万円増加して7,873百万円となりました。

当期末における主要勘定残高の状況は、譲渡性預金を含む預金等残高は、法人預金を中心に増加し、前期末比790億円増加して2兆3,941億円となりました。預り資産を加えた総預り資産残高は、前期末比923億円増加して2兆5,283億円となりました。また、貸出金残高は、中小企業・個人向け貸出等に積極的に取り組みました結果、前期末比776億円増加して1兆9,828億円となりました。なお、自己資本比率（国内基準）は8.49%となりました。

金融再生法開示債権額は、前期末比1,009百万円減少して36,971百万円、総与信に占める割合は1.83%となりました。

		令和6年3月期	
			前期比
損益	経常収益	47,805百万円	4,500百万円
	コア業務粗利益	31,768百万円	1,429百万円
	コア業務純益	13,815百万円	1,102百万円
	経常利益	12,022百万円	798百万円
	当期純利益	7,873百万円	261百万円
	本業利益（外貨調達コスト控除後）	8,642百万円	784百万円
	与信関連費用	831百万円	△341百万円
		令和6年3月期末	
			前期末比
主要勘定残高・諸比率	総資産	26,158億円	1,170億円
	預金等（譲渡性預金を含む）	23,941億円	790億円
	総預り資産	25,283億円	923億円
	貸出金	19,828億円	776億円
	有価証券	3,821億円	103億円
	自己資本比率（国内基準）	8.49%	0.34%
	金融再生法開示債権額	36,971百万円	△1,009百万円
不良債権	総与信に占める割合	1.83%	△0.13%

(2) 令和7年3月期第2四半期累計期間（令和6年4月1日～令和6年9月30日）及び通期（令和6年4月1日～令和7年3月31日）単体業績予想

①令和7年3月期第2四半期累計期間

（単位：百万円）

	経常利益	中間純利益
令和7年3月期 第2四半期累計期間	4,950	3,350

②令和7年3月期通期

（単位：百万円）

	経常利益	当期純利益
令和7年3月期 通期	10,450	7,150

3. 香川銀行

(1) 令和6年3月期（令和5年4月1日～令和6年3月31日）単体業績

当期における損益状況は、経常収益は、貸出金利息及び株式等売却益が増加したこと等により、前期比5,723百万円増加して34,495百万円となりました。

また、コア業務粗利益は、資金利益及び役務取引等利益が増加したこと等により、前期比1,170百万円増加して24,237百万円となり、銀行本業の収益を示すコア業務純益は、前期比561百万円増加して9,371百万円となりました。

経常利益は、有価証券関係損益が増加し、前期比706百万円増加して9,541百万円となり、当期純利益は、前期比113百万円増加して6,341百万円となりました。

当期末における主要勘定残高の状況は、譲渡性預金を含む預金等残高は、個人・法人預金ともに増加し、前期末比1,120億円増加して1兆9,482億円となりました。預り資産を加えた総預り資産残高は、前期末比1,164億円増加して2兆914億円となりました。また、貸出金残高は、中小企業・個人向け貸出等に積極的に取り組みました結果、前期末比833億円増加して1兆5,818億円となりました。なお、自己資本比率（国内基準）は9.92%となりました。

金融再生法開示債権額は、前期末比3,033百万円増加して31,176百万円、総与信に占める割合は1.92%となりました。

		令和6年3月期	
			前期比
損益	経常収益	34,495百万円	5,723百万円
	コア業務粗利益	24,237百万円	1,170百万円
	コア業務純益	9,371百万円	561百万円
	経常利益	9,541百万円	706百万円
	当期純利益	6,341百万円	113百万円
	本業利益（外貨調達コスト控除後）	6,419百万円	570百万円
	与信関連費用	881百万円	345百万円
		令和6年3月期末	
			前期末比
主要勘定残高・諸比率	総資産	21,864億円	1,384億円
	預金等（譲渡性預金を含む）	19,482億円	1,120億円
	総預り資産	20,914億円	1,164億円
	貸出金	15,818億円	833億円
	有価証券	3,034億円	△148億円
	自己資本比率（国内基準）	9.92%	0.46%
不良債権	金融再生法開示債権額	31,176百万円	3,033百万円
	総与信に占める割合	1.92%	0.09%

(2) 令和7年3月期第2四半期累計期間（令和6年4月1日～令和6年9月30日）及び通期（令和6年4月1日～令和7年3月31日）単体業績予想

①令和7年3月期第2四半期累計期間（単位：百万円）

	経常利益	中間純利益
令和7年3月期 第2四半期累計期間	4,350	2,850

②令和7年3月期通期（単位：百万円）

	経常利益	当期純利益
令和7年3月期 通	8,650	5,800

以 上

【本件に関するお問い合わせ先】

トモニホールディングス株式会社 経営企画部
株式会社徳島大正銀行 企画部
株式会社香川銀行 総合企画部

TEL：087-812-0102
TEL：088-656-1118
TEL：087-812-5132